

一般質問発言通告書

議席番号 5 番

氏名 沖田真治

答弁を求める者

(○をつける)

市長

教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 浜田市地域公共交通計画（案）について

(1) 地域の特性に対応し、高齢者等の公共交通利用者のニーズに合った交通手段の確保について

①令和4年度時点であいのりタクシー事業を利用している団体は、13団体の全てが旧那賀郡となっ

ている。制度を運用する中での課題や実績を踏まえ、まだ利用がない旧浜田市内への普及はどのように

考えているのか伺う。

②事業開始から好評な敬老福祉乗車券事業について、利用しやすく増刷を求める利用者の意見も多くあ

る状況を踏まえると、乗車券事業への予算比率を上げることがニーズに合った交通手段の確保につな

がるのではないかと思うが市の考えを伺う。

(2) 効率的で持続可能な交通体系の構築について

①民間路線バスの減便が相次ぎ、今後も減便、廃線が予想される。生活路線バスにおいても利用者は減

少傾向にある中、市としてバス路線存続をどのように考えているのか伺う。

②効率的で持続性の観点から、乗合タクシーやあいのりタクシー事業のような利用者のニーズに合った

他の交通手段に力を入れることで地域交通の充実を図るのか、方針について伺う。

③国土交通省においては、関係府省庁とも連携しつつ MaaS（マース Mobility as a Service）の全国への急速な普及に取り組んでおり、導入している自治体もあるが、本市はどのように考えているのか伺う。

(3) 利用しやすい交通環境の整備について

①今回示された地域公共交通計画では、若者や学生が活動や生活するための移動手段確保という観点が見受けられない。1月17日に県立大学生と意見交換を行った際、大学へのバス便の時間が合わない、少ないなどの意見があった。都会地と比べ公共交通が十分ではない本市において、学生が活動や生活するうえで移動手段の確保は課題と思っている。県立大学生や市内の学生が活発に活動することで町は活性化されるとも考える。令和6年度の施政方針でも若者対策が示されており、若者の移動手段の充実も対策と言えらると思うが市の考えを伺う。